

# 「環境づくり」の実践

— インテリアで人と建築をつなぐ —



# 「環境づくり」とは

インテリア小改修による動線や活動場所の設定、活動の誘発など、環境を介して人々の生活を支援するための空間の演出を行う取り組みです。

私たちは研究室の専門性を活かし、医療・福祉施設における環境づくりの実践を行っています。

個々のプロジェクト全体が調査・計画・実践・検証というPDCAサイクルを構成しており、学生はこのなかで医療・福祉施設を利用する人と、その生活を支えるスタッフに向き合い、自らの技術と知識、行動によってその困難や課題の解決を実践します。



## 高齢者施設

01. スマイルぷらちな /p.4



## 放課後等 児童デイ サービス

02. ぷらちな児童デイ /p.8

03. ジョイナス中村橋 /p.12



## 幼児教育 ・子育て 支援拠点

04. ファピ天神教室レクルン /p.16

05. 子連れコワーキングスペース /p.20

06. ぴたカフェ /p.22



## 保育所

07. レイモンド花畑保育園 /p.26

08. 福岡の企業主導型保育所 /p.30



## 医療系 小児病棟 こども病院

09. 東京医科歯科大学 小児病棟 /p.32

10. ワンストップ相談センター「SODA」 /p.36



## DIY 支援 イベント展示

11. 銀茶会の茶室 /p.40

12. 展示ブースのデザイン /p.42

13. 国分寺の民家改修 / p.44

# スマイルぷらちな

小規模多機能型居宅介護事業所（要介護高齢者の通所・宿泊施設）

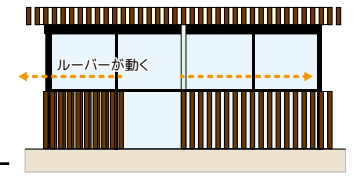
自転車販売店舗を改修した小規模多機能型居宅介護事業所から環境づくりの依頼を受けて、現地調査（観察調査、ヒアリング調査、キャプション評価法調査）によって現状の課題とニーズを把握し、環境改善提案を行いました。

法人と事業所ロゴ、内装・外装を設計提案し、結果として中規模改修が採用されたことから、設計事務所に実施設計を依頼し、工務店による施工が行われました。最終の仕上げとして、目隠しのガラスシートの貼り付け等、簡易的な部分を学生が施工しました。



植栽

1階の窓際に植栽を置くことで、外部からの視線を緩和する。



可動ルーバー

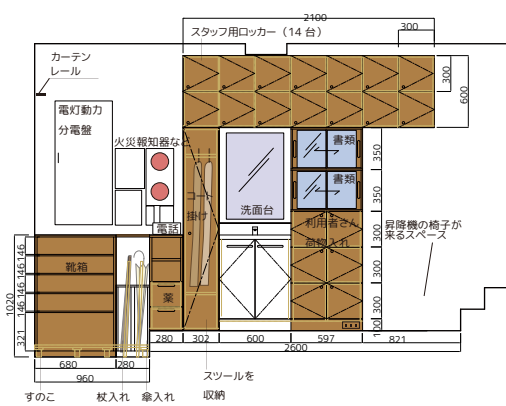
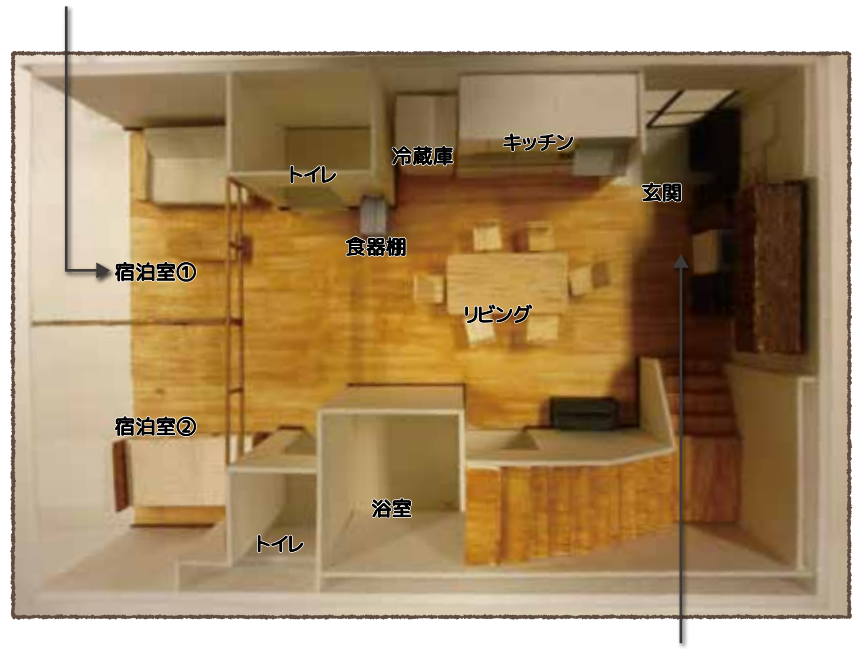
2重サッシの間にルーバーを設ける。1階のルーバーは左右に開閉でき、ベッド搬入がしやすく、また外部へも出やすい。



ロゴマーケティングの公開コンペを実施しました。選定されたロゴマークは、明るく楽しいイメージ、そして世の中には「たくさんの方がいる」ことと、法人の活動の主要3対象（子ども、高齢者、障がい者）を3原色と基本図形3種（○、△、□）で表現しています。

# 1階フロア提案

**宿泊室①**  
ソファベッドとローテーブルは宿泊室としての利用だけでなく、休憩スペースとしても利用できる。



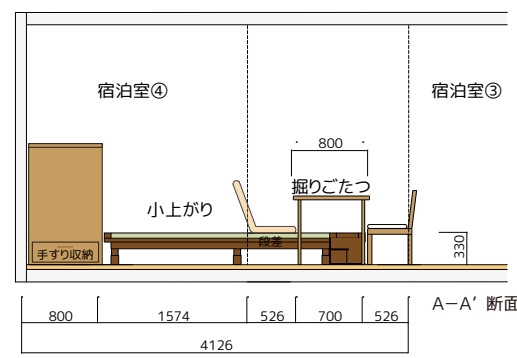
**玄関～昇降機**

- 既存の水道や食器棚を撤去 → 新たに下駄箱や棚を設置
- 玄関に入ってからスムーズな動作に配慮
- 玄関のボックスカーテンを外す

# 2階フロア提案



**ベッド**  
下に引き出しのあるもの、または、あとから引き出しを購入しベッド下に置くことで、利用者の方の着替えや必需品を宿泊室の雰囲気や乱すことなく収納することができる。



**小上がり、掘りごたつ、事務机**

- のぼり降りしやすいよう踏込を設ける
- 事務机は小上がりの上でも、小上がりにあがらなくても使用可能
- 手すりの収納を設ける
- テーブルは移動可能